

《厚生労働省選定13品目非該当》

NEW

ビルデックグリーン



微臭性防かび・強膜塗料

ビルデックは微臭から環境対応へ

塗っているときニオイが気になりません。
塗ったあとニオイが残りません。
環境にやさしく、頼れる強い塗膜。

NAD塗料技術に定評のあるDNTから、溶剤臭の低減化を最大限まで追求した、『ビルデックグリーン』が生まれました。グリーンは、すぐれた耐水性、作業性に加え、防かび、シミ、ヤニおさえ技術と、新しく開発された微臭溶剤を組合わせた、内外部用つや消し塗料です。事務所、病院、レストラン、ホテル、店舗など臭気を避けたい時、臭気を避けたい場所への塗装に最適です。

厚生労働省選定13物質は配合していません。

無鉛・クロムフリー

脱トルエン・キシレン



『緑のビルデック』と呼んで下さい。



大日本塗料株式会社



ビルデックグリーン

微臭性防かび・強膜塗料

特長

人と環境にやさしい

厚生労働省選定 13品目に該当しない無害の塗料です。

かすかなニオイ

塗料に含まれる溶剤の臭気を可能な限り抑えた、微臭塗料です。塗装中のニオイが少ないのは勿論、翌日の室内にも嫌なニオイを残しません。

頼れる塗膜

強い耐水性、耐アルカリ性、耐候性など、強力な性能を有しています。

色・容量

白、指定色..... 16 kg、4 kg
原色(6色)..... 4 kg
グリーンシンナー..... 16 L、4 L

防かび性も兼備

一般建築物に発生しやすいかびに優れた効果を発揮し

幅広い適用性

各種旧塗膜の塗り替えに適用できます。

きれいな仕上がり

シミ、ヤニ抑え効果がありシーラーなしでも塗装でき

塗りやすく使いやすい

NAD塗料の優れた作業性をそのまま生かしながらニオイだけを抑えてあり、水性エマルジョン塗料と同等の優れた作業性をもっています。

用途

事務所、店舗、病院、学校、ホテル、食品工場、レストラン、厨房、浴室などの内外壁面。

適用箇所

各種ボード、モルタル面

標準塗装仕様

工程	塗料名	作業内容	標準使用量(kg / 回)	塗装間隔
1 素地調整		サンダー、ワイヤーブラシ等で旧塗膜の密着性を失った部分およびその周辺塗膜を十分に除去し、刷毛又はウエスで被塗物表面のゴミ、汚れを除きます。		
2 上塗一層目	ビルデックグリーン	刷毛、ローラー、又はスプレーでビルデックグリーンを塗装します。希釈はグリーンシンナーで、刷毛、ローラー塗り0~5%、スプレー10~20%うすめます。	0.12~0.14	3時間以上
3 上塗二層目	ビルデックグリーン	同上	0.11~0.14	

下地に問題があり、シーラーが必要な場合には、ビルデックグリーンをシンナーで80~100%希釈したものをご使用いただきますと大きな効果を発揮します。これまで、しっくいや石こうの塗装に満足な仕上がりの得られる塗料はまれでしたが、このような素材に対しても浸透力があるので使用できます。

施工上の注意

調色には必ず専用原色、又はマイティーカラー溶剤(3%以内)を用いて下さい。
シンナーは必ずグリーンシンナーを使用して下さい。他のシンナーを使用しますと、臭気の発生やリフティング等の原因となります。(塗料シンナーも使えますがシンナー臭がします。)
5以下の低温では塗膜の密着性が低下しますから、5以下では塗装しないで下さい。
モルタルの養生は十分に行ってください。原則として3週間以上が適当です。(含水率10%以下、pH10以下で塗装して下さい。)
食品工場を塗装する場合、食品に直接触れたり、塗膜に付いた水滴などが食品の中に入らないように注意して下さい。
塗装中は換気を十分行って下さい。本品は臭気に気付かず作業しがちです。火気厳禁、換気には十分注意し守って下さい。

使用上の注意

引火性 あり **警告** 有害性 あり

- 引火性の液体である。
- 有機溶剤中毒の恐れがある。
- 健康に有害な物質を含有している。

吸入したり皮膚にふれたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

取扱い上の注意

- 火気の無い局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
- 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
- 取扱い中は、皮膚にふれないようになり、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。
有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護メガネ、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
- 取扱い後は、手洗い及びうがい、を十分に行ってください。
- 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
- よくフタをし、40以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
- 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
- 本来の用途以外に使用しないで下さい。
- 10容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

緊急時の処置

- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
- 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した時には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮膚に変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。

詳細な内容が必要な時には、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

本製品の内容は予告なく変更することがあります。

DNT 大日本塗料株式会社

大阪営業所	06-6466-6618	554-0012	大阪市此花区西九条 6-1-124
東京営業所	03-5710-4501	144-0052	東京都大田区蒲田 5-43-23 蒲田シティビル
札幌営業所	011-822-1661	003-0012	札幌市白石区中央二条 1-5-1
小山営業所	0285-24-0123	323-0025	小山市城山町 2-10-14 日光堂ビル
名古屋営業所	052-332-1701	460-0022	名古屋市中区金山 1-12-14 金山総合ビル
岡山営業所	086-255-0151	700-0034	岡山市高柳東町 13-5
福岡営業所	092-938-8222	811-2312	福岡県粕屋郡粕屋町大字戸原字ハル 142

塗料相談室 フリーコール 0088-22-1641